

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	薬草で健康長寿の村づくり
事業主体 (連絡先)	筑北村役場 0263-66-2111
事業区分	保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,086,426 円 (うち支援金 : 2,665,000 円)

事業内容

筑北村は1人当たりの医療費が県内でも高い市町村であるため、薬草の健康効果に着目し、「知る」「栽培する」「食べる」「楽しむ」をキーワードに各種事業を行った。
薬草を知る

薬草試験地見学会の開催・薬草に親しむ集会の開催

薬草を栽培する

家庭栽培用の薬草種子の配布・薬草栽培講習会の開催

薬草を食べる

韓国式薬膳料理教室の開催・エゴマ搾油場の整備

村内女性団体等による薬膳料理の研究と普及

薬草を楽しむ

韓方香り袋づくりワークショップの開催



【薬草に親しむ集会の様子】

【目標・ねらい】

- ① 薬草栽培・イベント参加者増加
- ② エゴマ搾油機器整備
一般利用準備
えごま栽培者の拡大

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 薬草の種子を村内 36 名の方に配布した。昨年からの栽培者を合わせると約 100 名の方が薬草を栽培している。薬草イベントについて、昨年と比べ参加者は少なかったが、継続して参加する方が多く、知識や技術の向上を図ることができた。
- ② エゴマ用の搾油機・洗浄機・乾燥機を導入し、試験搾油を行った。平成 29 年 4 月から一般利用できるよう準備を行っている。薬草に親しむ集会では、エゴマに焦点を当て、栽培・利用・加工方法についての講演をし、90 名を超える参加者があった。搾油については、村内外からの問い合わせも多くあり、来年度の利用者数に期待する。

※自己評価 【 B 】

【理由】

昨年に比べ、種子の配布者やイベントの参加者が減少してしまった。エゴマを中心に今後も薬草事業を継続したい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

エゴマを中心に今後も薬草栽培の補助として種子の配布や関連イベントを開催し、薬草事業を継続し、栽培者の増加や、搾油所の使用者増加を図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある